

## 令和5年度 遠野市緑化祭 『里山フェスタ 2023』



令和5年6月 10 日(土)、遠野市内小学校8校の森林愛護少年団と一般参加者を含め総勢 371 名により、遠野市宮守町欄場市有林を会場に、森林体験活動を通じて森林の役割と大切さについて理解を促すとともに、住みよい環境・まちづくりを創造することを目的とし、市民協働で森林づくりを行う遠野市緑化祭『里山フェスタ 2023』が開催され、約 2,000 本のカラマツの植樹が行われました。

当日は、暑いくらいの天候に恵まれ、主催者を代表して遠野市長、来賓を代表して市議会議長らの挨拶の後、宮守森林愛護少年団を代表した児童が「みどりの誓い」を元気いっぱいに宣誓するなどして開会式を終了しました。

ひき続き、フェラーバンチャとフェラーバンチャザウルスロボの高性能林業機械とドローンの実演があり、児童や保護者らが目を輝かせながら見入っていました。



その後各班ごとに植樹場所に移動し、慣れない唐クワを使ってカラマツの苗木を丁寧に植栽していました。なかには、手作業の方が慣れているのか早いのか、クワを使わず周りの土を戻している親子もいました。



参加者全員によるドローンでの記念撮影の後、各森林愛護少年団の代表による、「これからも緑を守り育てたい」などの感想の後、支署長より「今日の作業は、植樹して、

育て、伐採して、利用する・利用し続ける」という、SDGsの目標13・15に貢献する森林を循環利用していく上での重要な取り組みです」との講評の後閉会し、全日程を無事終了いたしました。

直射日光がまぶしく、作業が終わるまで日陰に入れないなか、汗だくになりながらも熱心に植樹する児童・保護者らを見ていて、幾分明るい緑豊かな遠野市の将来を思い浮かべられる一日となりました。